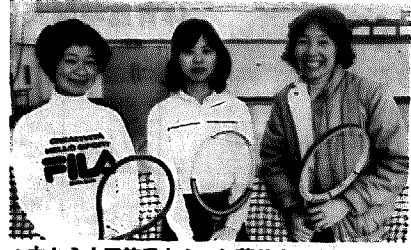


主婦業と両立... してゐるかしら
バウンドテニスクラブ
「私は一人でバウンドテニス教室に入っただけですが、大勢の人と知り合いになれました。クラブで忘年会、新年会、ボリリング大会や山菜採りなどやれて、ほんとによかったと思います。(加藤)



▲右から山田節子さん、加藤美恵子さん、富田敏子さん



▲右から奥山洋之さん、高橋信也さん、品川祐敏さん、山本信二さん、坂井政幸さん。

優勝したので
しかたなく(?)
蓮方バレーボールチーム
「平均年齢ですか。三十一、四歳ぐらいじゃないですか。ここも高齢化社会ですよ。(笑)

本職?は野球。シーズンオフの今はバレーボールチームなのです。代表して、品川さんにインタビュー。
「おとしからバレーを始めたんですけれど、その理由は去年のバレーボール大会で優勝してしまっていて、これではやめるわけにいかないと。まあ、他には野球に備えてですね。」



▲吉岡純子さん(右)と甲節子さん

近ごろ
「新しい団地に引越してきて、近所の人全然知らないでしよう。それでもみなさんと知り合いになろうと思ひまして、始めたんです。(甲)
「子供が小学校に入学して時間もできましたし、楽しいです。(吉岡)
「十二月のパドミントン大会に出たんですが、体力の限界を知りました。でも、練習休むとすぐ体にこたえます。それがわかるだけでも健康だと思つてます。(甲)
「クラブ組織に入りたいと思ひませんが、今みたには気軽にできるから続けられると思ひます。テニスや卓球もやりたいですね。(二人)



▲黒崎町総合体育館、右が武道館

地域に
浸透するスポーツ
「体育館がもっと

二、三ページに掲載されているみなさんは、二月二十六日(金)から三月四日(休)の一週間に総合体育館を利用していただく方々です。もちろん、もっとたくさんの方が利用しています。体育連盟や中学校のクラブ活動以外の個人利用者は百十

「若い時に陸上をしていたので。毎日ではありませんがよく利用しています。三十分は走りますが、健康のためというより、好きだからですね。(白井)
「毎日必ず一時間走ってます(距離にして約十キロ)。退職する前からですから、もう九年になりますね。各地のマラソン大会にもよく参加します。(長谷川)
「今日は十周(二十七キロ)しました。長谷川さんにはかかないませんが、走ろうと思ひます。暖かくなれば外でも走りたいですね。今日は久しぶりに走ったのでちよつときつかったですね。(吉井)

近くにあらばいい。できたら立派な小学校の体育館を開放して欲しい。(主婦 寺地)
「ランニングを毎日しています。もう日課になりました。ええ、健康にいいですよ。(男性 黒鳥)
「運動したのは中学のクラブ以来です。年をとりにくくないからしてです。(主婦 黒鳥)
「一人で来ても、自由に使えるといいと思う。でも、この体育館で体が動かせないので、高校を卒業しても来たいと思う。(学生 黒崎高)
「野球がシーズンオフなので、体力づくりのために来て、ここでトレーニングしてる。(農業 木場)
「主人が柔道連盟の練習に来るので私も子供を連れて来ました。中学のとき卓球部でしたけど、今は体がまきまきですね。(主婦)
「ここまで自転車です。これだけでもいい運動だと思つてます。でも遠いなあ。(主婦 寺地)
「体育指導のみなさんにはお世話になります。私はこの三月で引越しますが、ここに来るようになって、ようやく黒崎町の住民という意識を持ちました。(主婦)

「ランニングを毎日しています。もう日課になりました。ええ、健康にいいですよ。(男性 黒鳥)
「運動したのは中学のクラブ以来です。年をとりにくくないからしてです。(主婦 黒鳥)
「一人で来ても、自由に使えるといいと思う。でも、この体育館で体が動かせないので、高校を卒業しても来たいと思う。(学生 黒崎高)
「野球がシーズンオフなので、体力づくりのために来て、ここでトレーニングしてる。(農業 木場)
「主人が柔道連盟の練習に来るので私も子供を連れて来ました。中学のとき卓球部でしたけど、今は体がまきまきですね。(主婦)
「ここまで自転車です。これだけでもいい運動だと思つてます。でも遠いなあ。(主婦 寺地)
「体育指導のみなさんにはお世話になります。私はこの三月で引越しますが、ここに来るようになって、ようやく黒崎町の住民という意識を持ちました。(主婦)

特集 社会体育を考える

もう春。心うきうき、体もはずみます。スポーツを始めるには絶好の季節です。昭和五十三年に総合体育館が完成して以来、黒崎町のスポーツ人口は年々増加しています。色々な大会も開催され、スポーツ熱も高まってきました。でも、まだスポーツの楽しさを知らない人も多いようです。そんな人のために今号は「社会体育」を特集します。

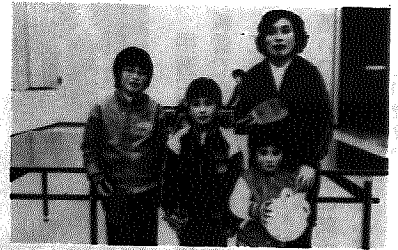
スポーツすれば 三つの健康

「スポーツなんか何のたしになる」なんて思っている人は少ないでしょう。ほとんどの場合と云ってはいくらいい、みなさんはスポーツの重要性を認めていると思います。「健康にいいから」——スポーツしている人はもちろん、していない人もそう言います。事実、そうす。



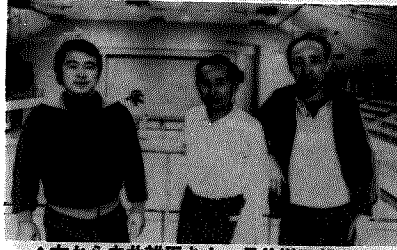
健康には、肉体的、精神的、社会的の三つの面があります。一般的に肉体的側面が強調される傾向があります。スポーツ——それはチャンピオンを決めるもの。もちろん、体を鍛えることも大事ですが、それだけではありません。精神的健康——スポーツすると心が豊かになります。責任感、連帯感や忍耐する心が生まれます。親子でスポーツすれば心が通います。

スポーツして「心身」ともに健康になれば、社会も明るくなるでしょう。青少年の非行防止にも役に立ちます。また、体に悪い、公害などの問題さえも解決できるかもしれません。社会的健康です。つまり、町づくりにもなるわけです。ですから、「スポーツなんか...」と思つてる人がいたら、ちよつと考え直してみてください。



▲高橋さん一家右から藤葉ちゃん、お母さんの豊子さん、大介君、泰代さん。

「お父さんが卓球連盟の練習に来てるのでいっしょに来ましたという高橋さん。
「二月の卓球大会にお父さんと泰代が参加したので、私もやつてみようかなと思つて始めました。
「夜来れるのは、お父さんが卓球連盟の練習に来てるからです。備ると九時過ぎですから、食事や家事をすませて来ます。子供も宿題を終わらせてからです。こうしておけばすぐ寝られますから。」
「子供がやりたいというんです。だから、これからは暇なときは連れて来ようと思ひます。」
「卓球を中心にしたいなあと思ひますけど、なわとびやランニングもいいと思ひます。子供に負けないうようにがんばりたいですね。」



▲右から白井耕平さん、長谷川四郎さん、吉井次平さん

「若い時に陸上をしていたので。毎日ではありませんがよく利用しています。三十分は走りますが、健康のためというより、好きだからですね。(白井)
「毎日必ず一時間走ってます(距離にして約十キロ)。退職する前からですから、もう九年になりますね。各地のマラソン大会にもよく参加します。(長谷川)
「今日は十周(二十七キロ)しました。長谷川さんにはかかないませんが、走ろうと思ひます。暖かくなれば外でも走りたいですね。今日は久しぶりに走ったのでちよつときつかったですね。(吉井)

野老平